

第 126 回

2016.8.18

企業経営動向調査

公益財団法人 徳島経済研究所

調査目的	徳島県内の企業動向を的確に把握すること
対象企業	県内主要企業313社、回答企業180社、回答率57.5%
調査対象期間	2016年4～6月期の実績、7～9月期および10～12月期の予想
調査時点	2016年7月上旬～下旬

要約

4～6月期の業況判断はやや改善 7～9月期、10～12月期も改善が続く見通し

県内企業（全産業）経営動向調査結果によれば、業況判断BSIは、1～3月期と比べ、4～6月期（前期 当期： 16 13）はやや改善した。また、前回調査時の予想（ 12）と比べてほぼ横ばいとなっている。業種別にみると、製造業（同： 29 6）が改善した一方で、非製造業（同： 11 16）は悪化している。

先行きについては、7～9月期の業況判断（ 10）は、悪化を予想する企業の比率が低下していることなどから、引き続きやや改善する見通しである。また、10～12月期の業況判断（ 7）も改善が続く見通しである。

4～6月期の設備投資は、実施企業の比率は前年同期より上昇し、総投資額も製造業の増加幅が大きく前年同期比12.9%増の約238億円となった。先行き7～9月期の計画は、実施企業の比率が前年同期と比べ低下し、金額も同27.1%減の見込みとなっている。

今後1年間の設備投資意欲については、前期と比べ、製造業が改善の一方、非製造業はやや悪化し、全業種では前期と比べほぼ横ばいとなっている。

1. 概況 (全産業)

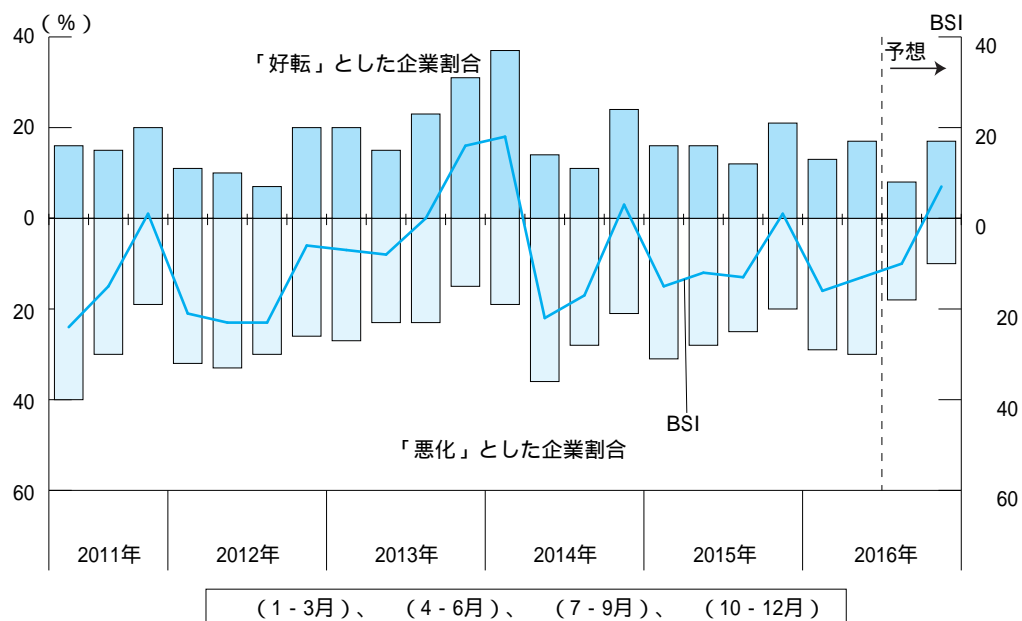
【2016年4～6月期の実績】 業況判断はやや改善し、前回調査時予想とほぼ横ばい

県内企業の当期（2016年4～6月期、以下同じ）の業況判断は、前期と比べ好転とした比率が上昇したことから、やや改善した。

B S I（業況が「好転（増加）」と回答した企業割合から「悪化（減少）」と回答した企業割合を引いた数値）でみると、前期に比べ、売上げB S Iは 9 12、収益B S Iは 8 13とともに悪化した。一方、業況判断B S Iは 16 13となり、前回調査時の4～6月期予想（ 12）とほぼ横ばいとなっている。

4～6月期の業況判断B S Iを2011年からみると、 24 23 8 22 12 13（今回）となっている。概ね横ばいで推移している景気を反映し、前年同期と同水準の結果となった。

企業経営者による業況判断



図の見方

アンケートでは、売上げ、経常利益、業況の各項目について、前期に比べて「好転（増加）」「不変」「悪化（減少）」の回答を求めており、B S Iはこのうち「好転（増加）」と回答した企業割合から「悪化（減少）」と回答した企業割合を差し引いた値です。

このB S Iから、「売上げが何%伸びたか」など計数的な測定はできませんが、景気の転換点（景気の山、谷）や「好転感が県内の各企業にどの程度広がっているか」といった「浸透度」をみることが可能です。

前期比は季節性が入りやすいので、前年同期と比較することも必要です。

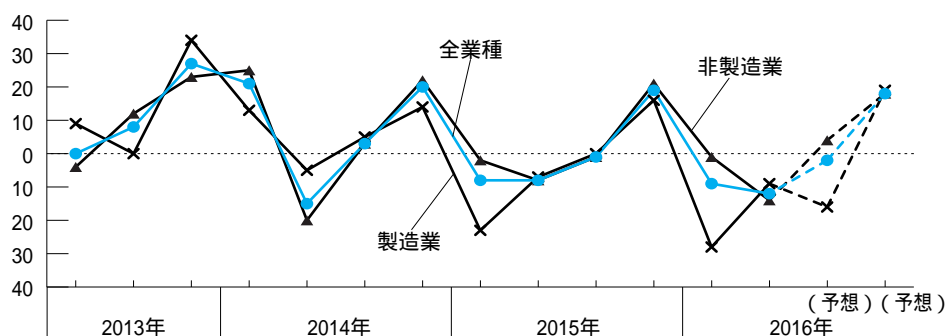
【2016年7～9月期の予想】 業況判断はやや改善が続く見通し

7～9月期の予想は、4～6月期に比べ、全業種の売上げBSI（12.2）、収益BSI（13.2）は改善、業況判断BSI（13.10）もやや改善の見通しとなった。また、この業況判断BSIは、前年同期の実績（13）をやや上回っている。

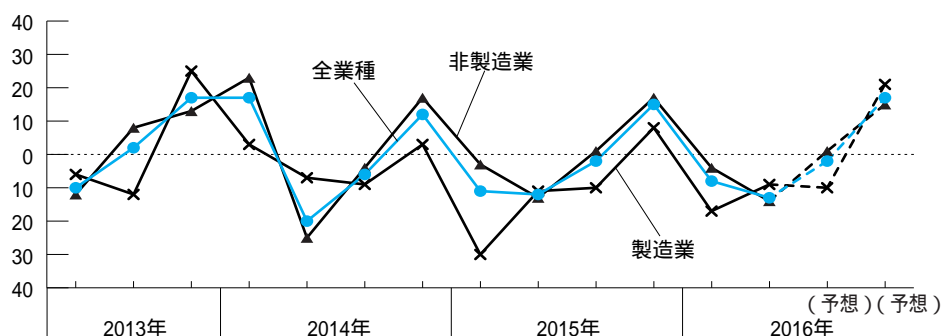
【2016年10～12月期の予想】 業況判断は改善が続く見通し

10～12月期の予想は、7～9月期に比べ、売上げBSI（2.18）、収益BSI（2.17）、業況判断BSI（10.7）ともに改善する見通し。また、この業況判断BSIは前年同期実績（1）も上回っている。総じてみれば、先行きにおいて、悪化する見通しを持つ企業の比率の低下を反映している。

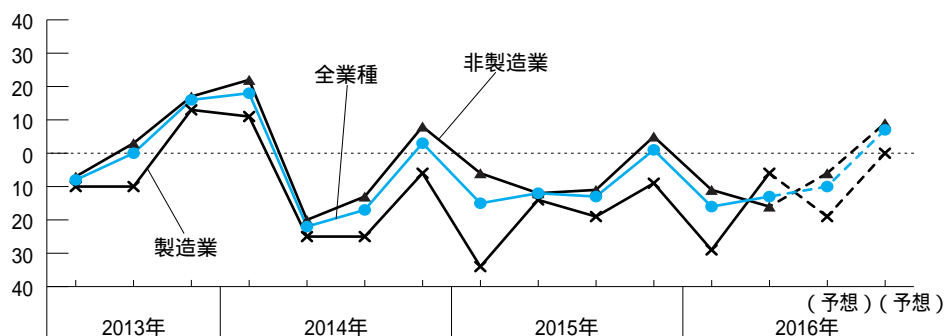
(1) 売上げBSI



(2) 収益BSI



(3) 業況BSI



2. 製造業の動向

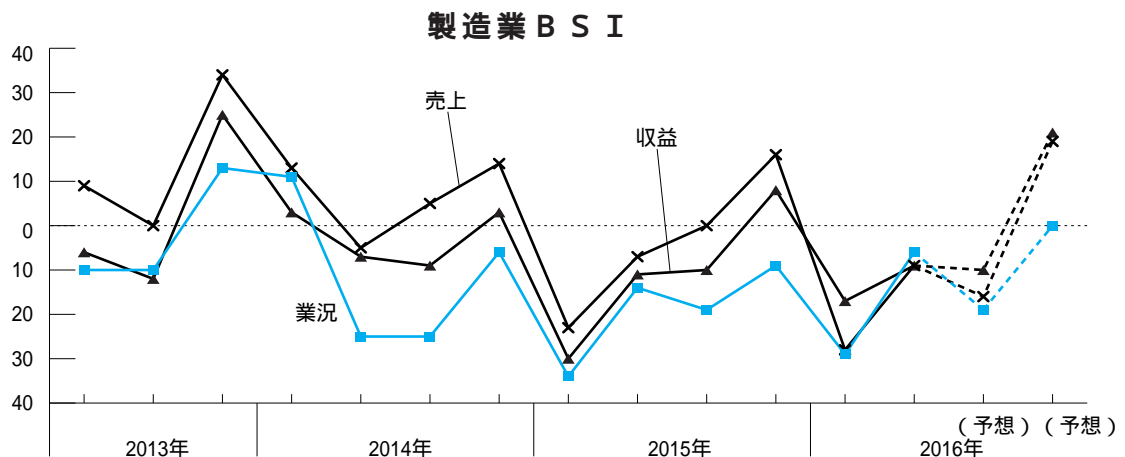
【製造業の現状】 業況判断は改善し、前回調査時予想とほぼ横ばい

前期に比べ、売上げBSI(28.9(前回調査時の予想8))、収益BSI(17.9(同9))、業況判断BSI(29.6(同8))はともに改善した。前年同期と比べると、売上げBSI(7.9)、収益BSI(11.9)はほぼ横ばい、業況判断BSI(14.6)は改善している。

【先 行 き】 業況判断は、7～9月期は悪化の一方、10～12月期は改善の見通し

7～9月期の予想をみると、当期に比べ、収益BSI(9.10)はほぼ横ばいの一方、売上げBSI(9.16)、業況判断BSI(6.19)はともに悪化する見通し。なお、この業況判断BSIの予想は、前年同期(19)と横ばいである。

一方、10～12月期の予想は、7～9月期予想に比べ、売上げBSI(16.19)、収益BSI(10.21)、業況判断BSI(19.±0)はともに改善する見通し。また、この業況判断BSIの予想は、前年同期(9)を9ポイント上回っている。



3. 非製造業の動向

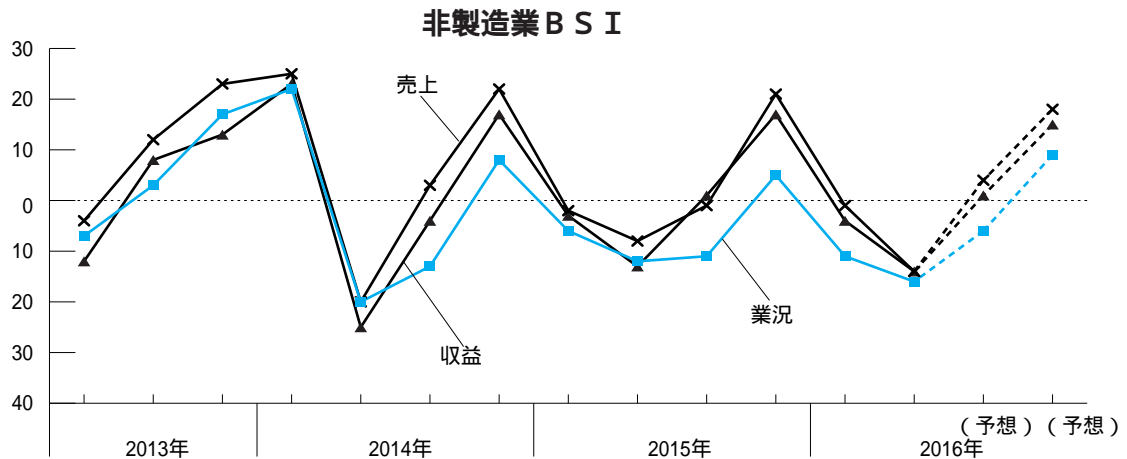
【非製造業の現状】 業況判断は悪化し、前回調査時予想よりもやや低い水準

前期に比べ、売上げBSI(1.14(前回調査時の予想12))、収益BSI(4.14(同18))、業況判断BSI(11.16(同15))はともに悪化した。前年同期と比べると、収益BSI(13.14)はほぼ横ばいだが、売上げBSI(8.14)、業況判断BSI(12.16)は悪化している。

【先 行 き】 業況判断は、7～9月期、10～12期とも改善の見通し

7～9月期の予想をみると、当期に比べ、売上げBSI（14 4）、収益BSI（14 1）、業況判断BSI（16 6）はともに改善の見通し。また、この業況判断BSIの予想は、前年同期（11）を5ポイント上回っている。

10～12月期の予想も、7～9月期予想に比べ、売上げBSI（4 18）、収益BSI（1 15）、業況判断BSI（6 9）はともに改善の見通し。また、この業況判断BSIの予想は、前年同期（5）を4ポイント上回っている。

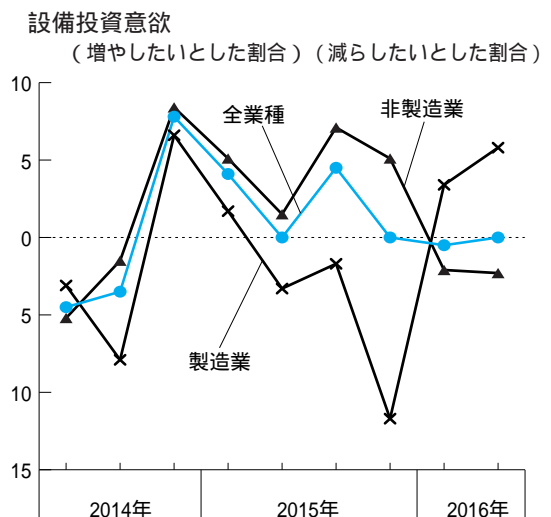


4 . 設備投資の動向

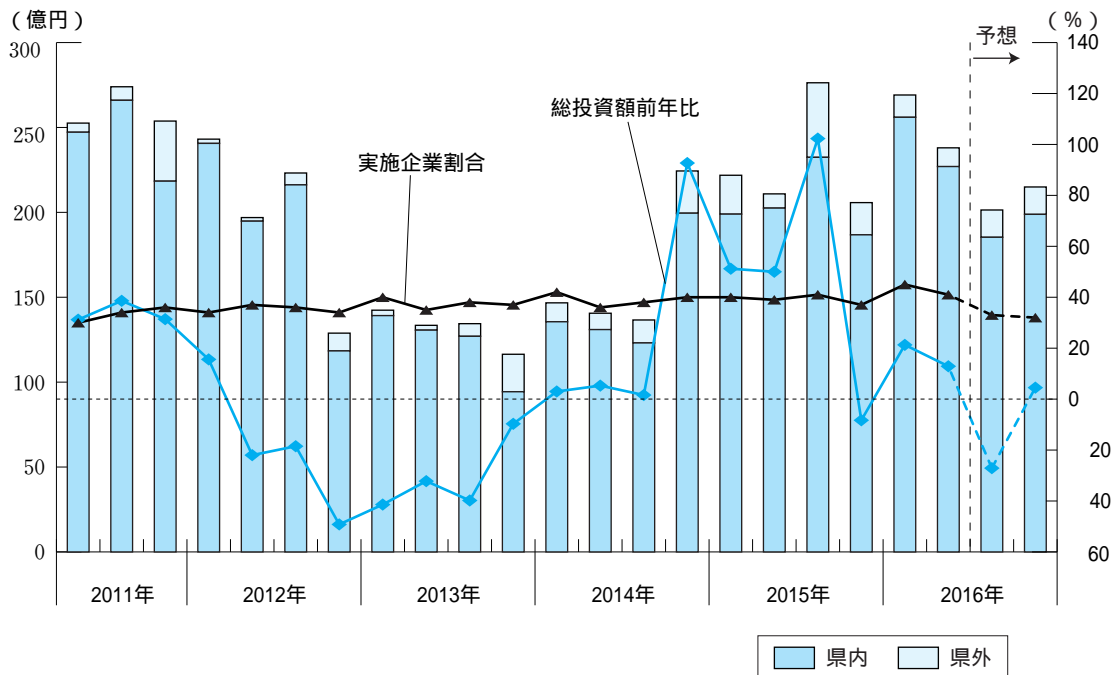
回答企業（全産業）のうち、当期において1百万円以上の設備投資（新規リース契約を含む）を実施した企業は全体の41.1%、総投資額は238億円（うち、県内投資額は226億97百万円）であった。前年同期と比較すると、総投資額は、製造業で大幅に増加したことから、全体でも12.9%増となった（前期比では11.6%減）。また、実施企業の割合も2.5ポイント上昇している。

一方、先行きの計画をみると、7～9月期の実施企業割合は33.3%で前年同期を下回るとともに、総投資額は約201億円で前年同期比27.1%減となる見込みである。10～12月期の総投資額については、約215億円で同4.5%増の見込みである。

今後1年間の設備投資意欲（全産業）は、「増やしたい」、「減らしたい」ともに14.4%、「ほぼ変わらない」が71.1%となった。「増やしたい」から「減らしたい」を差し引いた比率（±0.0ポイント）は、前期と比べほぼ横ばいとなっている。



設備投資額（支払ベース）



製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、53.8%で前年同期より11.2ポイント上昇した。また、総投資額は、224億40百万円（同186億37百万円）で大手の電気機械を中心に前年同期比20.4%増加、うち県内投資額は218億18百万円（同184億31百万円）となっている。

設備投資を目的別にみると、前期と比べ、「既存設備の補修更新」の比率が上昇した一方、「増産・拡販のため」は低下している。

先行きの計画については、7～9月期の総投資額は約183億円で前年同期比20.9%減の一方、10～12月期は約193億円で同7.8%増の見込みである。

今後1年間の投資意欲について、先行き「増やしたい」とする企業割合（17.3%）が「減らしたい」とする企業割合（11.5%）を5.8ポイント上回った。また、この差は2期連続で非製造業を上回っている。

非製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、35.9%で前年同期とほぼ横ばいの0.8ポイント低下となった。一方、総投資額は13億56百万円（同24億51百万円）で、店舗新設や太陽光発電建設などが目立った前年からの反動により、前年同期比44.7%減少した。県内投資額は8億79百万円（同18億19百万円）となっている。

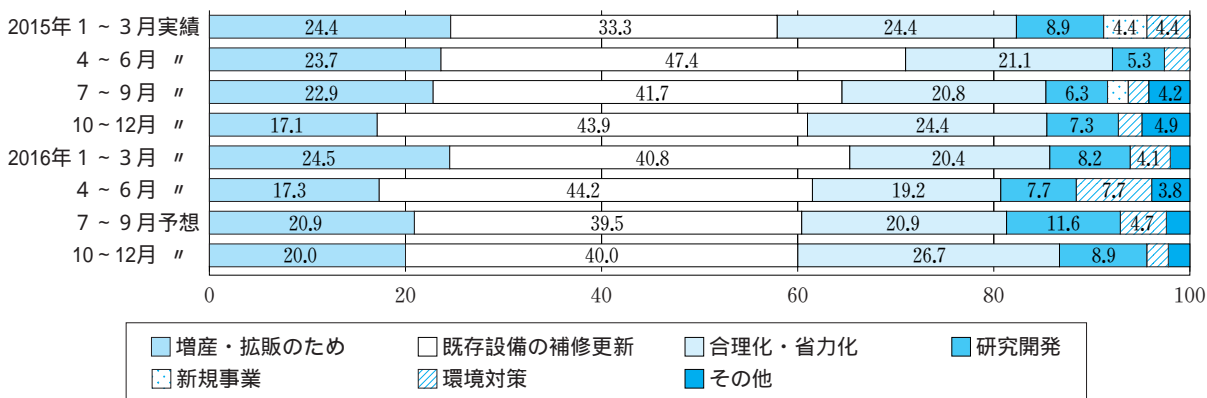
目的別にみると、前期と比べ、「既存設備の補修更新」、「合理化・省力化」の比率が上昇した一方で、「拡販のため」が低下している。

先行きの計画については、7～9月期の総投資額は約19億円で前年同期比58.7%減、10～12月期も約22億円で同17.6%減となる見込みである。

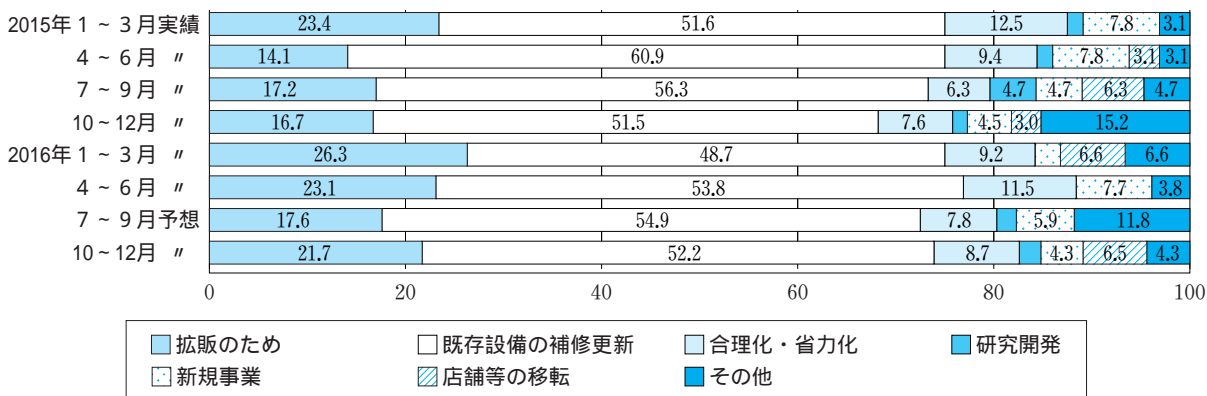
今後1年間の投資意欲は、先行き「増やしたい」とする企業割合（13.3%）が「減らしたい」とする企業割合（15.6%）より2.3ポイント下回った。

設備投資の目的

(1) 製造業



(2) 非製造業



(複数回答)

回答企業の概要

		(社)		
		総数	製造業	非製造業
資本金規模	1百万円未満	0	0	0
	1～3百万円未満	1	1	0
	3～5百万円未満	4	0	4
	5～10百万円未満	2	0	2
	10～50百万円未満	109	29	80
	50～1億円未満	39	13	26
	1億円以上	25	9	16
	計	180	52	128
従業員数	10人未満	16	6	10
	10～30人未満	39	8	31
	30～50人未満	38	10	28
	50～100人未満	36	7	29
	100～200人未満	29	8	21
	200～300人未満	7	5	2
	300～	15	8	7
計	180	52	128	

	業種	回答
製造業	食料品	6
	繊維製品	4
	木材・木製品	9
	パルプ・紙	2
	化学工業	6
	窯業・土石	5
	機械・金属	15
	その他	5
	計	52
	非製造業	建設業
運送業		13
卸売業		36
小売業		25
サービス業		38
その他		1
計		128
総数	180	

参考資料

B S I

(1) 業況判断

(単位：%，ポイント)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2014年10～12月実績	24	55	21	3	20	54	26	6	27	54	19	8
2015年1～3月 "	16	53	31	15	9	48	43	34	20	54	26	6
4～6月 "	16	56	28	12	20	46	34	14	14	60	26	12
7～9月 "	12	63	25	13	12	57	31	19	11	67	22	11
10～12月 "	21	59	20	1	18	55	27	9	22	61	17	5
2016年1～3月 "	13	58	29	16	7	57	36	29	16	57	27	11
4～6月 "	17	53	30	13	19	56	25	6	16	52	32	16
7～9月予想	8	74	18	10	2	77	21	19	11	72	17	6
10～12月 "	17	73	10	7	8	84	8	0	20	69	11	9

(2) 売上げ判断

(単位：%，ポイント)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2014年10～12月実績	44	32	24	20	39	36	25	14	46	30	24	22
2015年1～3月 "	28	36	36	8	22	33	45	23	31	36	33	2
4～6月 "	29	34	37	8	31	31	38	7	28	36	36	8
7～9月 "	27	45	28	1	32	36	32	0	25	49	26	1
10～12月 "	41	37	22	19	43	30	27	16	41	39	20	21
2016年1～3月 "	28	35	37	9	19	34	47	28	32	35	33	1
4～6月 "	27	34	39	12	29	33	38	9	26	34	40	14
7～9月予想	22	54	24	2	15	54	31	16	25	54	21	4
10～12月 "	33	52	15	18	31	57	12	19	34	50	16	18

(3) 経常利益判断

(単位：%，ポイント)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2014年10～12月実績	36	40	24	12	31	41	28	3	39	39	22	17
2015年1～3月 "	26	37	37	11	22	26	52	30	28	41	31	3
4～6月 "	24	40	36	12	28	33	39	11	22	43	35	13
7～9月 "	27	44	29	2	29	32	39	10	26	49	25	1
10～12月 "	36	43	21	15	35	38	27	8	36	45	19	17
2016年1～3月 "	26	40	34	8	20	43	37	17	29	38	33	4
4～6月 "	26	35	39	13	29	33	38	9	25	36	39	14
7～9月予想	21	56	23	2	17	56	27	10	22	57	21	1
10～12月 "	31	55	14	17	29	63	8	21	32	51	17	15

(注) B S I =(好転)-(悪化)